

平成22年2月期 第2四半期決算短信

平成21年10月9日

上場会社名 株式会社 オンワードホールディングス
 コード番号 8016 URL <http://www.onward-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水野 健太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務経理部担当 (氏名) 吉沢 正明
 四半期報告書提出予定日 平成21年10月15日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東 大 名

TEL 03-3272-2317

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年2月期第2四半期の連結業績(平成21年3月1日～平成21年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年2月期第2四半期	121,821	—	263	—	1,305	—	960	—
21年2月期第2四半期	132,469	△5.9	5,990	△19.1	6,825	△37.7	2,497	△60.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年2月期第2四半期	6.13	6.11
21年2月期第2四半期	15.94	15.93

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年2月期第2四半期	286,364	161,043	55.7	1,017.86
21年2月期	296,282	158,418	52.9	1,001.36

(参考) 自己資本 22年2月期第2四半期 159,452百万円 21年2月期 156,866百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年2月期	—	—	—	30.00	30.00
22年2月期	—	—	—	—	—
22年2月期 (予想)	—	—	—	24.00	24.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成22年2月期の連結業績予想(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	247,600	△5.1	3,700	△59.3	5,200	△17.3	2,000	—	12.77

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年2月期第2四半期	172,921,669株	21年2月期	172,921,669株
---------------------	-------------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数	22年2月期第2四半期	16,266,909株	21年2月期	16,267,855株
-----------	-------------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年2月期第2四半期	156,649,939株	21年2月期第2四半期	156,661,693株
----------------------	-------------	--------------	-------------	--------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.本資料に記載されている業績予想に関する記述は、本資料発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき判断して作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2.当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準 第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針 第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(1) 業績の概要

当第2四半期連結累計期間(平成21年3月1日～平成21年8月31日)におけるわが国経済は、金融市場の混乱は落ち着き始めたものの、実体経済の低迷は続き、雇用や所得環境の深刻化などにより個人消費がさらに減速し、景気は低調に推移しました。

当アパレル業界につきましては、生活防衛意識の高まりによる低価格志向や消費動向の変化がさらに進むなど、厳しい状況が続きました。

このような経営環境のなか、当社グループは、経営の効率化をさらに進め、厳しい環境下においても、攻めと守りを明確にしながら事業運営を進めてきました。

国内事業の概況につきましては、株式会社オンワード樫山において、市況が低迷するなか、売上高の減少による影響を軽減するため、生産管理、経費管理を徹底し効率運営に努めました。さらに、非効率なブランド・店舗を廃止しながら、基幹ブランドについては、最適なショップ環境への移設拡大を引き続き進めました。しかしながら、売上高の減少が大きく、営業利益は前年を下回る結果となりました。その他の国内子会社は、概ね計画通りに推移し、売上高は減少したものの増益基調となりました。

海外事業の概況につきましては、世界的な経済不況の影響を大きく受けているラグジュアリーブランドの構成比が高い欧州地区の子会社が、大幅な減益となりました。

以上の結果、連結売上高は1,218億21百万円(前年同期比8.0%減)、連結営業利益は2億63百万円(前年同期比95.6%減)、連結経常利益は13億5百万円(前年同期比80.9%減)、連結四半期純利益は9億60百万円(前年同期比61.5%減)となりました。

(2) セグメント別の業績

事業の種類別セグメントの状況は、次のとおりです。

① アパレル関連事業

国内事業につきましては、株式会社オンワード樫山において、経営効率の改善をはかるため、ブランドと売り場の見直しをさらに進めました。結果として厳しい市況のなか、売上高は前年を大きく下回りましたが、生産管理の徹底により在庫評価損の圧縮と、最大の基幹ブランド「23区」の回復基調などで、粗利益率の改善がはかれました。他の国内アパレル関連子会社も売上高は減少したものの、効率経営に努め全体として増益となりました。

海外事業につきましては、欧州地区において、ジボコー、ジョゼフ、ジルサンダー各グループの売上高が、マーケットの回復が遅れていることから計画を大きく下回りました。欧州地区の各子会社は、グローバル戦略の要であり、さらにブランド価値を高めながら、経営効率と売上拡大を進め収益性を改善していきます。アジア地区においては、経済成長が鈍化した影響もあり、状況に対応した運営を行ったことから、一時的に成長率は弱まりました。

以上の結果、売上高は1,145億24百万円(前年同期比7.7%減)、営業利益は63百万円(前年同期比99.0%減)となりました。

②その他の事業

サービス関連事業につきましては、ファッション物流事業のアクロストラnsポート株式会社、商業施設の設計・施工事業の株式会社オンワードクリエイティブセンターの両社は、取引物件、受託数が減少しましたが、計画通りの収益を上げることができました。

リゾート関連事業につきましては、新型インフルエンザの影響からグアムへの旅行者が大幅に減少したことで、売上高は減少しましたが、経営効率の徹底化で収益改善がはかれました。

以上の結果、売上高は105億10百万円(前年同期比12.8%減)、営業利益は80百万円(前年同期比26.6%減)となりました。

また、所在地別セグメントの状況は、次のとおりです。

①日本

国内事業につきましては、厳しい消費環境の下、効率を重視した事業運営により選択と集中をより進めました。グループの中心である、株式会社オンワード樫山が百貨店流通における市況の低迷から、売上高が大きく減少し、減益となりました。しかしながら、その他の国内子会社は、売上高は前年を下回ったものの、増益となりました。

以上の結果、売上高は1,000億43百万円(前年同期比11.4%減)、営業利益は28億89百万円(前年同期比50.0%減)となりました。

②欧州

グローバル戦略の要となる欧州地区の各子会社は、昨年来の世界経済危機の影響を大きく受け、各国からの商品受注が大きく減少したことなどから、業績は計画を大きく下回りました。しかしながら、現在、組織の集約化を含む事業構造の変革に着手しており、早期の経営体質強化の実現を目指しています。

以上の結果、売上高は188億71百万円(前年同期比14.5%増)、営業損失は26億21百万円(前中間連結会計期間営業利益4億83百万円)となりました。

③その他

北米やアジアなどの地域の業績は以下のとおりです。

売上高は37億83百万円(前年同期比14.7%減)、営業損失は2億82百万円(前中間連結会計期間営業損失3億56百万円)となりました。

※「連結経営成績に関する定性的情報」における前年同期増減率および金額は、参考としています。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1)資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ99億17百万円減少し、2,863億64百万円となりました。これは、売上債権、たな卸資産の減少等によるものです。負債は、前連結会計年度末に比べ125億43百万円減少し、1,253億21百万円となりました。これは、仕入債務の減少等によるものです。純資産は26億25百万円増加し、1,610億43百万円となり、自己資本比率は、55.7%となりました。

(2)キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少などの支出要因がありましたが売上債権やたな卸資産の減少等により12億54百万円の収入（前年同期は、45億62百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却等により51億24百万円の収入（前年同期は54億22百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払が主なもので35億15百万円の支出（前年同期は48億48百万円の支出）となりました。

これらの結果、当第2四半期末における現金および現金同等物は前連結会計年度末に比べて31億43百万円増加し、264億69百万円となりました。

※「連結財政状態に関する定性的情報」における前年同期額は、参考としています。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年2月期の通期の連結業績予想につきましては、平成21年4月9日公表の業績予想から修正を行っています。詳細につきましては、本日、別途開示する「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

重要性が乏しいため、記載を省略しています。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 「四半期連結財務諸表に関する会計基準」の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用

棚卸資産の評価基準及び評価方法について、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)」を適用し、主として総平均法による低価法から主として総平均法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しています。また、一部の連結子会社については、売価還元法による低価法から売価還元法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しています。

この変更に伴う損益に与える影響は軽微です。

③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っています。

この変更に伴う損益に与える影響は軽微です。

5【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,722	23,415
受取手形及び売掛金	23,280	26,420
商品及び製品	27,357	29,359
仕掛品	1,310	1,410
原材料及び貯蔵品	3,328	2,988
その他	11,037	15,514
貸倒引当金	△513	△162
流動資産合計	92,524	98,945
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	29,000	29,113
土地	53,145	53,041
その他(純額)	8,439	8,019
有形固定資産合計	90,584	90,174
無形固定資産		
のれん	45,786	47,475
その他	2,992	2,899
無形固定資産合計	48,778	50,374
投資その他の資産		
投資有価証券	33,417	33,824
その他	23,790	25,686
貸倒引当金	△2,730	△2,723
投資その他の資産合計	54,477	56,788
固定資産合計	193,840	197,336
資産合計	286,364	296,282

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,240	39,620
短期借入金	34,993	31,647
未払法人税等	1,026	2,261
賞与引当金	1,791	2,187
役員賞与引当金	124	133
返品調整引当金	474	637
その他	10,565	15,880
流動負債合計	81,215	92,368
固定負債		
長期借入金	25,065	26,746
退職給付引当金	3,113	2,933
役員退職慰労引当金	62	56
その他	15,864	15,760
固定負債合計	44,105	45,496
負債合計	125,321	137,864
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,079	30,079
資本剰余金	50,043	50,043
利益剰余金	117,671	121,412
自己株式	△23,502	△23,512
株主資本合計	174,292	178,023
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,745	△6,929
繰延ヘッジ損益	1	△75
土地再評価差額金	△11,074	△11,074
為替換算調整勘定	△2,021	△3,076
評価・換算差額等合計	△14,840	△21,156
新株予約権	345	293
少数株主持分	1,246	1,258
純資産合計	161,043	158,418
負債純資産合計	286,364	296,282

(2)【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)
売上高	121,821
売上原価	66,569
売上総利益	55,252
販売費及び一般管理費	54,988
営業利益	263
営業外収益	
受取利息	60
受取配当金	364
受取ロイヤリティー	449
受取地代家賃	674
為替差益	131
その他	747
営業外収益合計	2,428
営業外費用	
支払利息	592
その他	793
営業外費用合計	1,386
経常利益	1,305
特別利益	
投資有価証券売却益	2,004
その他	62
特別利益合計	2,066
特別損失	
減損損失	60
その他	385
特別損失合計	446
税金等調整前四半期純利益	2,925
法人税等	1,992
少数株主利益	△27
四半期純利益	960

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,925
減価償却費	2,809
減損損失	60
のれん償却額	1,667
貸倒引当金の増減額(△は減少)	76
退職給付引当金の増減額(△は減少)	325
受取利息及び受取配当金	△425
支払利息	592
投資有価証券売却損益(△は益)	△2,004
売上債権の増減額(△は増加)	4,007
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,492
仕入債務の増減額(△は減少)	△8,131
その他	△3,917
小計	480
利息及び配当金の受取額	594
利息の支払額	△593
法人税等の支払額	△1,724
法人税等の還付額	2,498
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,254
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△234
定期預金の払戻による収入	111
有形固定資産の取得による支出	△1,352
投資有価証券の取得による支出	△763
投資有価証券の売却による収入	8,120
長期前払費用の取得による支出	△247
その他	△510
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,124
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,128
長期借入金の返済による支出	△1,706
自己株式の取得による支出	△5
配当金の支払額	△4,699
その他	△232
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,515
現金及び現金同等物に係る換算差額	280
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,143
現金及び現金同等物の期首残高	23,326
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,469

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計規則第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)

	アパレル 関連事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売 上 高					
(1) 外部顧客に対する売上高	114,512	7,309	121,821	—	121,821
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	12	3,201	3,214	(3,214)	—
計	114,524	10,510	125,035	(3,214)	121,821
営 業 利 益	63	80	143	120	263

(注) 事業区分については、事業目的により、アパレル関連事業とその他の事業に区分しています。

アパレル関連事業……………紳士服、婦人服等の製造販売

その他の事業……………物流関連事業、スポーツ施設の経営、リゾート施設の経営等

2. 所在地別セグメント情報

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)

	日本 (百万円)	欧州 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	99,370	18,712	3,738	121,821	—	121,821
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	672	159	44	876	(876)	—
計	100,043	18,871	3,783	122,698	(876)	121,821
営 業 利 益 又 は 営 業 損 失 (△)	2,889	△2,621	△282	△15	278	263

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっています。

2 各区分に属する国または地域は以下のとおりです。

欧州…… イギリス・イタリア・フランス

その他… 米国・中国・韓国

3. 海外売上高

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)

	欧州	その他	計
I 海外売上高(百万円)	12,531	8,361	20,892
II 連結売上高(百万円)	—	—	121,821
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	10.3	6.9	17.2

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっています。

2 各区分に属する国または地域は以下のとおりです。

欧州…… イギリス・イタリア・フランス

その他… 米国・中国・韓国

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高です。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等
(1) 中間連結損益計算書

科 目	前中間連結会計期間 (自 平成20年3月1日 至 平成20年8月31日)
	金額(百万円)
I 売上高	132,469
II 売上原価	72,553
売上総利益	59,916
III 販売費及び一般管理費	53,925
営業利益	5,990
IV 営業外収益	2,546
1 受取利息及び配当金	475
2 その他の収益	2,070
V 営業外費用	1,711
1 支払利息	203
2 その他の費用	1,508
経常利益	6,825
VI 特別利益	1,157
VII 特別損失	3,947
税金等調整前中間純利益	4,035
法人税、住民税及び事業税	3,574
法人税等調整額	△ 2,215
少数株主利益	178
中間純利益	2,497

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成20年3月1日 至 平成20年8月31日)
区分	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税金等調整前中間純利益	4,035
2 減価償却費	2,815
3 減損損失	70
4 のれん償却額	849
5 貸倒引当金の増減額	200
6 退職給付引当金の増減額	△ 354
7 受取利息及び受取配当金	△ 475
8 支払利息	203
9 固定資産処分損益	19
10 売場什器除却損	216
11 投資有価証券売却損益	5
12 関係会社株式売却損益	△ 1,132
13 投資有価証券評価損	3,358
14 非連結子会社株式評価損	93
15 売上債権の増減額	3,242
16 たな卸資産の増減額	△ 734
17 仕入債務の増減額	△ 3,838
18 その他	320
小計	8,895
19 利息及び配当金の受取額	858
20 利息の支払額	△ 199
21 法人税等の支払額	△ 7,824
22 法人税等の還付額	2,832
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,562

	前中間連結会計期間 (自 平成20年3月1日 至 平成20年8月31日)
区分	金額(百万円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 定期預金の預入支出	△ 84
2 定期預金の払戻収入	84
3 有形固定資産の取得による支出	△ 751
4 有形固定資産の売却による収入	43
5 投資有価証券の取得による支出	△ 2,772
6 投資有価証券の売却による収入	1,186
7 長期前払費用に係る支出	△ 410
8 差入保証金に係る支出	△ 132
9 差入保証金に係る収入	316
10 連結範囲の変更を伴う子会社株式取得 による支出	△ 55
11 少数株主持分の取得による支出	△ 3,105
12 その他の他	259
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,422
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 短期借入金の増減額	28
2 自己株式の取得による支出	△ 16
3 親会社による配当金の支払額	△ 4,699
4 少数株主に対する配当金の支払額	△ 166
5 その他の他	5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,848
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 110
V 現金及び現金同等物の減少額	△ 5,818
VI 現金及び現金同等物の期首残高	36,775
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高	30,956

(3) セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

前中間連結会計期間(自 平成20年3月1日 至 平成20年8月31日)

	アパレル 関連事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売 上 高					
(1) 外部顧客に対する売上高	124,097	8,372	132,469	—	132,469
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	8	3,679	3,688	(3,688)	—
計	124,105	12,052	136,158	(3,688)	132,469
営 業 費 用	118,063	11,942	130,005	(3,526)	126,478
営 業 利 益	6,042	109	6,152	(162)	5,990

2. 所在地別セグメント情報

前中間連結会計期間(自 平成20年3月1日 至 平成20年8月31日)

	日本 (百万円)	欧州 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	111,965	16,111	4,392	132,469	—	132,469
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	889	369	43	1,303	(1,303)	—
計	112,854	16,481	4,436	133,772	(1,303)	132,469
営 業 費 用	107,075	15,997	4,792	127,865	(1,386)	126,478
営 業 利 益 又 は 営 業 損 失 (△)	5,779	483	△356	5,907	83	5,990

3. 海外売上高

前中間連結会計期間(自 平成20年3月1日 至 平成20年8月31日)

	欧州	その他	計
I 海外売上高(百万円)	11,865	8,189	20,054
II 連結売上高(百万円)	—	—	132,469
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	8.9	6.2	15.1